

## 台本トラック2：誰もいない医務室

---

「どうかしましたか？」

「こちらを見てください」

「……顔が赤いですね。やっぱり、熱、あるんですか？」

「……え……？ 僕のせい……？ どうして？」

「ドキドキする……って……」

「僕の方こそ！ 今、これでも胸が高鳴っているんですよ」

「ホラ、触ってみてください」

(出来れば少し早めの心音を、小さめの音で入れる)

「分かりますか？ ……貴女に触れられて、また早くなった」

「ふふっ……。そんなに照れないでください」

「ああ、ホラ」

「下を向いてしまっっては、顔が見られなくなってしまう」

「……誰か来ないか、不安？」

「大丈夫。鍵をかけるから」

(コツコツと早足で歩く音)

(鍵をかける音。軽めの音でOK)

(コツコツと早足で歩く音)

「これでもう、誰も此处へは入ってこられない」

「貴女を好きだという気持ちに、偽りは無いですよ」

「だから、もう一度」

「……好きです」

「僕と、付き合っていていただけませんか？」

「あっ……あははっ……！」

「本当に？ 両想い……だったんですか？」

「信じられない！」

「僕は、幸せです」

「そうだ、まだ赤い、その顔」

「心配ですから、こちらに」

「さあ」

(靴の鳴る音。七瀬と女性の分。少しタイミングをずらして。)

(ドサッとベッドに座る音)

「……横になって」

(布の擦れる音)

「おでこ、触って良い？」

「……熱は、本当にないみたいですね」

「え？ 顔が近い？」

「ちゅっ……」

「あ……ごめんなさい、つい……」

「可愛かったから」

「ダメ……ですか？」

「……その顔」

「もっと僕に、見せてください」

「ちゅっ……ちゅっ……」

「……沢山触らせてくださいね？」

「此处も……」

「……誰も来ませんよ」

「ね？ さっき、鍵、かけちゃいましたから」

「……ずっと、こうして触れたかった」

「貴女に」

「僕だけのモノに、したかった……」

「ちゅっ……ん……」

(布の擦れる音)

「……柔らかい」

「胸、弱いんですか？」

「ふふっ……」

「手を口に当てて？」

「声が、漏れないように」

(布の擦れる音：服を脱がしていくような形で)

「あっ……ほら、手を離してはダメですよ？」

「それとも、いやらしい声、聞いて欲しい？」

「なに……。気持ち良いこと、するだけですよ」

「あ……でも……」

「嫌だったら、言ってくださいね？」

「嫌がることは、したくない」

「そうですか……」

「では、遠慮なく」

「ちゅ……ちゅ……んっ……はぁ……はぁ……」

「ん……んん……っ……ちゅう……」

「ピチャピチャ……ピチャ……」

「乳首、気持ち良いですか……？」

「こっちも、しましょうね」

(布の擦れる音。服を脱がす感じで)

(ピチャピチャと水分を含む音)

「ああ……凄い……」

「触っただけで、こんなに溢れるなんて」

「指に絡みついてくる」

(↓水音と指でかき混ぜる音。強弱をつけながら。ここから)

「すんなり指も入りましたよ」

「気持ち良さそうな音……」

「ああ……凄い……」

「声も、漏れていますよ？」

「気持ち良いんですね」

「此处かな……」

「それとも、こっち……」

「ふふっ……きゅって締まりましたよ」

「なら、ここを触りながら……」

「クリも舐めましょうね」

「んんっ……ふう……んっ……ちゅう……ちゅっ……」

「んう……はぁ……ん……ふ……っ……ピチャ……ピチャ……」

「ピチャ……ピチャ……ちゅっ……ちゅっ……はぁ……はぁ……」

「……あれ？」

「声が、大きくなって来ましたね？」

「ちゅっ……ちゅっ……ん……」

「腰が、逃げてます」

「ダメですよ？」

「ピチャピチャ……ちゅう……ちゅっ……」

「んんん……ふ……う……ちゅっ……ピチャ……ピチャ……」

「はぁ……ピチャ……ピチャピチャ……」

「……そろそろ……ですか？」

「ん……ふっ……うん……っ……ピチャ……」

「どうぞ……」

「んう……ピチャ……ピチャ……んん……ピチャッ……」

「イッてください……」

「ふう……ふう……ちゅっ……ピチャ……ちゅう……ピチャッ……」

「んん……ちゅ……ピチャピチャ……」

「ちゅ……ピチャ……ピチャ……」

「……はぁ……はぁ……」

「……イきました？」

「ビクビクしてましたから」

「そんなに身体が跳ねるということは、気持ち良かったんですね」

「安心しました」

「ちゃんと感じてくれてるんだ、って」

「ちゅ……ちゅ」

「思った通りだ」

「反応が、全部可愛い」

「ちゅう……んんっ……」

「恥ずかしそうな顔も、気持ち良いのを我慢している声も」

「……もう、入れてもいいですか？」

「……ちゅっ……ん……ちゅ……ちゅ……」

「……はぁ」

「ふう……っ……ん……ぴちゃ……ぴちゃ……ちゅっ……ちゅっ……」

「ごめんね。我慢出来ない」